

まいまい

さぬきの手獅子

コンコン チツキチ〜 コン チツキチ〜

太鼓と鉦の音が響き始めると

さぬきの秋の始まりです。

色鮮やかな「油単」がひるがえり

にらみを効かせた獅子頭が空に舞います。

さあ、心踊る獅子舞を始めましょう！

組み立て方はこちら▼

まいまい ~さぬきの手獅子~

手に装着した獅子を使って、自分だけの獅子舞を楽しもう！

[組み立て方]

1

靴下を手に装着



2

鈴付きの輪ゴムを獅子の顔の上にセット



3

ハンカチ(油単)を輪ゴムに挟んで完成！



ハンカチの縁を少し出す

[遊び方]

- 手に装着した獅子を鉦の音に合わせて動かして遊ぼう
- 親指を靴下のかかとの部分に合わせるとパクパクさせることができるよ



遊び方動画

士蝶寺のりやん

まいまい

さぬきの獅子舞のお話

さぬきの獅子舞は、香川県のさまざまな地域で受け継がれてきた大切な文化。県内ではいまでも約800の獅子組があり、その数は日本一ともいわれています。地域によって獅子の顔や油単（ゆたん）にも個性があり、豊作に感謝して神様に舞を奉納する様子や、神輿が通る道を清める様子は、各地の神社の祭りなどで見ることができます。

【つくっているのはこんな人】

獅子舞油単 [大川原染色本舗]

江戸時代から獅子舞の油単を彩ってきた讃岐のり染。もち米に塩や石灰を混ぜて作ったのりを布地に置き、その部分を染め抜く技法で、香川県の伝統工芸の一つです。

獅子舞靴下 [株式会社 フクシン]

手袋の産地として有名な香川県東かがわ市にあるフクシン。優れたニット技術をもつ職人が伝統技術を駆使して、手袋や靴下などのニット製品を生み出しています。



セット内容

- 獅子の靴下 半足
- ハンカチ
- 鈴付き輪ゴム